

2008年2月14日

各 位

本社所在地 大阪市中央区南船場2丁目3番2号
会社名 イオンディライト株式会社
代表者名 代表取締役社長 古谷 寛
(コード番号 9787 東証・大証 第一部)
お問合せ先 ディライトコミュニケーション部長 倉方 大輔
(TEL. 06-6260-5632)
当社の親会社 イオン株式会社 (コード番号: 8267)
株式会社マイカル (コード番号: -)

根本特殊化学株式会社との業務提携に関するお知らせ

本日、根本特殊化学株式会社とイオンディライト株式会社は、下記の通り、業務提携を行うことで合意しましたので、ご案内いたします。

記

1. 業務提携の背景と目的

根本特殊化学株式会社（以下「根本特殊化学」という）は、安全な非放射性蓄光顔料「ルミノーバ」を開発し、瞬く間に世界の夜光時計を制覇、さらに緊急避難用の標識が各国で規格化され採用されるなど80%の世界シェアを誇ります。

一方、イオンディライト株式会社（以下「イオンディライト」という）は、現在日本における総合ビルメンテナンス業界で売上高トップであり、国内における大型商業施設面積の約40%以上の管理実績を有し、イノベーションによる産業化を目指して、リーディングカンパニーとしての推進役を自認しております。

全世界の共通課題である環境負荷の軽減、とくにエネルギー負荷の軽減または代用エネルギーへの変換の動きはますます活発化しており、両社は、現在あるシステムをゼロベースから見直し、新たな発想・考え・方法によって地球環境にやさしいシステムづくりを模索しております。

イオンディライトの持つ業界屈指の管理技術と根本特殊化学の持つ蓄光技術は、両社が目指す「安心・安全と省エネルギー」の実現が可能であり、協同推進することで、新たなシステムの構築と今後のメンテナンスのあり方に大きく変革をもたらすものであることから、この度、業務提携を実施することになりました。

この業務提携により、両社は、安全防災資材のイノベーションを通じて、お客さまへの更なるサービスを向上してまいります。

2. 業務提携の内容について

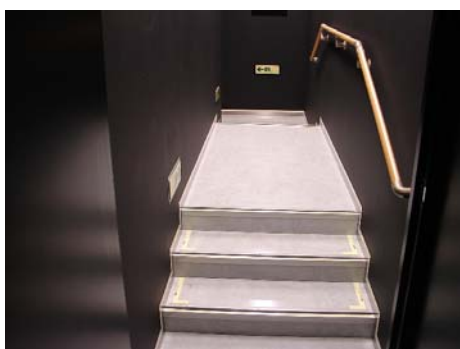
- (1) 「イオンディライト避難誘導システム」の販売促進、工事協力。
- (2) 既存製品の販売促進、工事協力。
- (3) 製品群に対する改善・改良および改善・改良に必要な情報の交換。
- (4) 両社事業の拡充・発展に関する協力。

◆イオンディライト避難誘導システムの概要

今回の業務提携と同時に導入する「イオンディライト避難誘導システム」は、蓄光顔料を加工した製品を利用することにより、内照式避難誘導灯や非常照明のように設置に関わる工事等の負担が少なく、電力を必要としないシステムであり、万が一の際に電気系統にトラブルが生じてもその場で発光し続けます。

また、視認性に優れ、従来システムとの併用によって更に安全性が高められるほか、メンテナンスフリーの製品であることから、任意で設置されている誘導標識に代替することにより、メンテナンスコストの低減にも寄与いたします。

<通常時>



<停電時>



3. 両社の概要

商号	根本特殊化学㈱	イオンディライト㈱
所在地	東京都杉並区 1-15-1	大阪市中央区南船場 2-3-2
設立	1941年12月	1972年11月
代表者	代表取締役社長 根本 郁芳	代表取締役社長 古谷 寛
主な事業の内容	N夜光「ルミノーバ」をはじめ、蛍光体事業やガスセンサー、時計電材事業などで世界No.1 企業を目指す	大型商業施設をはじめ、空港、ホテル、病院などあらゆる施設のメンテナンスを実施
資本金	9,900万円	32億3,800万円
従業員数	連結) 1,291人	連結) 8,343人
営業収益	7,163百万円 (2007年5月期連結実績)	132,000百万円 (2008年2月期予想)
ホームページ	http://www.nemoto.co.jp/	http://www.aeondelight.co.jp/

4. 日程

- 1) 取締役会決議 2008年2月14日
- 2) 契約締結日 2008年3月上旬(予定)
- 3) 開始日 2008年3月上旬(予定)

5. 今後の業績に与える影響

業務提携により両社事業のシナジー効果の最大化を目指してまいります。今後の業績に与える影響につきましては、見通しが明らかになり次第お知らせいたします。

以上